

数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム

令和5年度第1回四国ブロック運営会議議事要旨

1. 日時 令和5年7月4日(火) 15時00分～16時15分
2. 場所 高知大学朝倉キャンパス総合研究棟2階会議室1  
遠隔 (Zoom ミーティング)
3. 出席者  
対面参加：[徳島大学] 大藪准教授、[愛媛大学] 平野教授  
[高知大学] 佐々教授、三好教授、野村教授、菅原特任講師、斎藤助教、  
李特任助教、[香川大学] 高橋教授、林教授、宮崎教授、藤澤特命講師  
遠隔参加：[徳島大学] 寺田教授、[鳴門教育大学] 宮口教授、阪東准教授  
[愛媛大学] 尾國教授、本田教授、原本准教授  
陪席者：[徳島大学] 岩森課長、齋藤副課長 [鳴門教育大学] 大林係長、三室係員  
[愛媛大学] 森田課長、石川研究補助員、越智事務補佐員  
[高知大学] 西村課長、斎藤係長、阿賀係員  
[香川大学] 藤沢部長、角田課長、澤井再採用職員、松本事務補佐員、  
萬本事務補佐員

開会に先立ち、高橋議長より挨拶があった。また、司会進行は、高橋議長の指名により林教授（香川大学）が行うこととなった。

#### 4. 審議事項

##### (1) 令和5年度のワークショップ開催について

高橋議長から、審議資料1に基づき、令和5年度のワークショップについて説明があり、審議の結果、以下のとおり承認された。

- ・対象校は、リテラシーレベル申請に向けて未着手又は学内で検討段階にあるような私立大学や短大とする。
- ・テーマは、リテラシーレベル申請に向けてのフォロー及び実例紹介とする [REDACTED]  
[REDACTED] また、文部科学省の担当者を招き、数理・データサイエンス・AI 教育事業における全国の状況や私学助成金に対する本事業との関わりなどの説明を依頼する。
- ・ [REDACTED]
- ・開催形式は、対面と遠隔の併用開催（ハイブリッド開催）とする。

(2) 各県の取組状況について

各大学から審議資料2に基づき、県単位でのヒアリング実施状況の報告があり、審議事項1のとおり、ワークショップを開催することを確認した。

(3) 数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム会員校拡大について

高橋議長から、審議資料3に基づき説明があり、四国ブロック内全校のリテラシーレベル認定に向け、幹事校による県単位でのコンソーシアム入会促進に留まらず、代表校の香川大学も四国ブロック全体の入会促進に対応していくことを確認した。

(4) 令和5年度第2回四国ブロック運営会議の日程について

次回開催日程は、令和5年12月頃を予定し、開催地は、次回ワークショップ開催と同様に令和5年8月末のリテラシーレベル認定結果後に、再度検討することとなった。

(5) その他

高橋議長（香川大学）から、今後は応用基礎レベル認定について、西日本アライアンスとのPBLの取組等を情報共有し、運営会議メンバーで検討していきたいとの発言があった。

## 5. 報告事項

(1) 数理・データサイエンス・AI教育四国地区セミナー情報のページについて

藤澤講師（香川大学）から報告資料1-1に基づき、香川大学数理・データサイエンス・AI教育のホームページ内のコンソーシアム四国ブロックのページに四国ブロック会員校限定ページを設置したこと、また四国地区セミナー情報のページを追加することについて、説明があった。なお、セミナー情報の提供方法について報告資料1-2に基づき説明があった。

平野教授（愛媛大学）から、四国地区セミナー情報について「教育」をテーマに限った情報を取り扱うのか、との質問があり、藤澤講師（香川大学）から「教育」に限らず四国地区に関わるセミナー情報を広く掲載する方針であるとの回答があった。

以上